



## 広島大学学長及び呉市長による記者説明会を開催します

### ～ 広島大学のプロジェクトが国立研究開発法人科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」本格型に採択 ～

令和8年2月20日（金）に、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）※の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）地域共創分野（本格型）」に、広島大学の「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが採択されました。

同プロジェクトは、令和6年10月1日に育成型に採択され、これまで取組を進めていましたが、この度、本格型への昇格となりました。

本格型では、今後10年度間、JSTからの支援を受けながら、呉市において様々な研究開発の活動が展開されます。

それに伴い、下記のとおり記者説明会を行います。

日 時：3月4日（水）13時30分～14時

場 所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階大会議室

出席者：広島大学 学長 越智 光夫

教授 作野 裕司

呉市 市長 新原 芳明

#### ※ 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

科学技術・イノベーション基本計画（科学技術基本法により政府が策定した基本計画）の中核的な役割を担う機関で、科学技術の振興を図ることを目的とする国立研究開発法人。国内外の研究機関、行政機関、産業界などと有望な研究課題を探索・発掘し研究開発を推進するとともに、多様な人材の支援・育成、情報・国際戦略基盤の強化、大学ファンドの運用と運用益による大学の研究環境整備及び若手研究者支援に関する助成事業等を実施

## 1 共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)

### (1) 趣旨

地域大学等を中心とし、地方自治体、民間企業等とのパートナーシップによる地域の社会課題解決や地域経済の発展を目的とした、自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成

### (2) 研究費・支援期間

- ・ 育成型：2,500万円／年度，最長2年度間 ※令和6年10月1日採択
- ・ 本格型：最大2億円／年度，最長10年度間 ※今回採択  
(育成型で成果がみられた場合，本格型に移行)

【参考：国立研究開発法人科学技術振興機構ホームページ】

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/index.html>

(共創の場形成支援プログラム)

## 2 「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクト

### (1) プロジェクトリーダー

作野 裕司 (広島大学大学院先進理工系科学研究科教授)

### (2) 参画機関等

代表機関：広島大学

幹事自治体：呉市

幹事機関：中電技術コンサルタント株式会社，復建調査設計株式会社

参画機関：呉工業高等専門学校，一般社団法人データ社会推進協議会，東京大学，  
(大学等) 長浜バイオ大学，広島商船高等専門学校，横浜国立大学

参画機関：株式会社エイトノット，呉産かき振興協議会，呉信用金庫，株式会社コ  
(大学等を ア中四国カンパニー，コースタルリンク株式会社，株式会社シーテック  
除く) ヒロシマ，株式会社水都広島，一般社団法人中国経済連合会，中国電力  
株式会社，株式会社デンソーウェーブ，株式会社豊國，ルーチェサーチ  
株式会社



令和8年2月26日

## 記者説明会（3月4日(水)13時30分・霞キャンパス）のご案内

## 本学と呉市の海洋文化都市実現に向けた取組が「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」令和8年度本格型に採択

広島大学が代表機関として提案を行った「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点」（プロジェクトリーダー：作野裕司 大学院先進理工系科学研究科・教授）が、科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」本格型に採択されました。

本学の提案は、呉の海域を実証フィールドとして、広島大学のリモートセンシング研究を核に、①企業・研究機関と連携し、海洋観測・解析技術を活用して海洋利用の高度化と社会実装の推進、②行政・企業・住民が海洋データを活用し、海の安全、防災、環境管理、養殖・海事産業の高度化を一体的に設計・運用する仕組みの実現、③海を基盤に多様な主体が価値を共創し続ける海洋エコシステムの形成に取り組み、これらを通じて“若者が誇れる、挑戦できる新たな海洋社会空間の創出”を目指すものです。

つきましては、下記のとおり記者説明会を行いますので、ご多忙とは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内いたします。

## 記

日時：3月4日（水）13時30分～14時

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟 3階大会議室

出席者：広島大学 学長 越智 光夫

教授 作野 裕司

呉市 市長 新原 芳明

COI-NEXTは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定し、「拠点ビジョン実現のためのバックキャスト型研究開発」と、それを支える「持続的な運営が可能な産学共創システムの構築」をパッケージで推進するプログラムです。昇格審査は、令和6年度に「育成型」として採択された6つのプロジェクトの中を対象に行われ、今般の審査を経て本提案を含む2件が本格型に採択されました。中国地域においてCOI-NEXTの拠点を有する大学は広島大学が唯一となります。

（参考 URL： <https://www.jst.go.jp/pf/platform/index.html>）

本格型に採択されたことを受け、令和8年度から10年間、幹事自治体である呉市、20を超える幹事機関・参画機関（研究機関・企業等）と共に「海洋文化都市」の実現に向けた取組を推進していきます。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室オープンイノベーション本部

産学連携部産学連携企画グループ 市川

TEL:082-424-4445

E-Mail : sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 6枚（本票含む）

# 拠点名称：リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点

代表機関	広島大学	プロジェクトリーダー	作野 裕司 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授
幹事自治体	呉市	幹事機関	中電技術コンサルタント株式会社、 復建調査設計株式会社
参画機関	(大学等)呉工業高等専門学校、一般社団法人データ社会推進協議会、東京大学、長浜バイオ大学、広島商船高等専門学校、横浜国立大学 (大学を除く)イトット株式会社、呉産かき振興協議会、呉信用金庫、株式会社コア中四国カンパニー、コースタルリンク株式会社、株式会社シーテックヒロシマ、株式会社水都広島、一般社団法人中国経済連合会、中国電力株式会社、株式会社デンソーウェブ、株式会社豊國、ルーチェサーチ株式会社		

## プロジェクトの概要

本プロジェクトは、広島大学の強みである衛星観測・測位・水中音響などのリモートセンシング（Remote Sensing）技術を核に、海域を科学と社会が共に理解し、管理し、活用できる新たな社会空間として再構築することを目指す。海洋環境の変化を科学的に可視化し、安全・防災・生産・教育をつなぐことで、若者が挑戦し誇りをもって働ける社会を実現する。



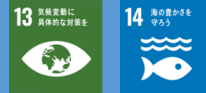
# 若者が誇れる、挑戦できる新たな海洋社会空間の創出

## TARGET 1



海の安全・安心で  
若者の挑戦を支える社会

## TARGET 2



環境保全と生産性が両立する  
若者が誇れる生業を支える社会

## TARGET 3



海の知を礎に若者の新しい職と学びを創る社会

### 研究開発課題1

#### 自律型安全運航研究

小型船や無人船が、人が少ない海域や狭い航路でも安全に航行できる仕組みを研究します。人工衛星やセンサーの情報を使い、周囲の状況を正確に把握しながら、事故を防ぐ技術を開発します。

#### 【目指す姿】

海の事故を減らし、誰もが安心して利用できる安全な海の交通を実現します。

### 研究開発課題2

#### 防災レジリエンス研究

人工衛星のデータと現地観測を活用し、台風や豪雨などの災害に強い沿岸地域づくりを目指します。海の状態を分かりやすく見える化し、災害の予測や備えに役立てます。

#### 【目指す姿】

災害が起きても被害を最小限に抑え、地域が早く立ち直れる社会を支えます。

### 研究開発課題3

#### スマート環境調和型養殖

人工衛星やAIを使って、海の環境を守りながら安定した養殖を行う方法を研究します。水質や海の変化を把握し、ムダの少ないエサやりや養殖管理を実現します。

#### 【目指す姿】

環境と生産性を両立し、次の世代につながる持続可能な漁業を実現します。

### 研究開発課題4

#### 共創型ELSI研究

海に関するデータを安心して、納得しながら使える社会のルールづくりを行います。市民、行政、企業と一緒に話し合い、データの公開や活用のあり方を考えます。

#### 【目指す姿】

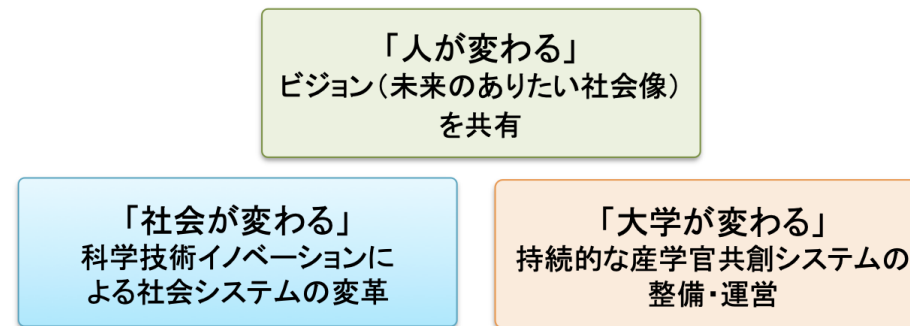
信頼できるデータ活用を通じて、社会に役立つ研究と地域づくりを進めます。

# 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）とは

- 科学技術振興機構（JST）が実施する公募型プログラム。概要は下図のとおり。
- 令和2年以降、毎年度公募が行われ、令和7年4月1日現在、35拠点が本格型として、取組を推進
- 本格型に採択された拠点は、10年間、最大2億円（地域共創型）～3.2億円（共創型）/年程度の支援を受け、ビジョンの実現に向けた取組を実施。

## プログラムの概要

- 大学等を中心として、企業や地方自治体・市民等の多様なステークホルダーを巻き込んだ産学官共創により、**未来のありたい社会像**をビジョンとして掲げ、その実現のため ①**バックキャスト**※による**イノベーションに資する研究開発**と、②**自立的・持続的な拠点の形成が可能な産学官共創システムの構築**をパッケージで推進。
- これを通じて、大学等の強みや特色を活かしながら産学官共創拠点の形成を推進し、国の成長と地方創生に貢献するとともに、大学等が主導する知識集約型社会への変革を促進。



(※)バックキャスト: ありたい社会の姿(ビジョン)から、主として科学技術による解決を目指して取組むべき課題を設定し、プロジェクト実施計画を策定して推進する手法

(別紙)

## 【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学 広報室 行

### 記者説明会（3月4日(水)13時30分・霞キャンパス）のご案内

本学と呉市の海洋文化都市実現に向けた取組が「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」令和8年度本格型に採択

日時：3月4日（水）13時30分～14時

場所：広島大学 霞キャンパス臨床管理棟 3階大会議室

出席者：広島大学 学長 越智 光夫

教授 作野 裕司

呉市 市長 新原 芳明

ご出席

ご欠席

貴社名：\_\_\_\_\_

部署名：\_\_\_\_\_

ご芳名：\_\_\_\_\_

電話番号：\_\_\_\_\_

メールアドレス：\_\_\_\_\_

※ 誠に恐れ入りますが、取材いただける場合には、上記にご記入頂き、  
3月3日（火）正午までにご連絡ください。